

鉄骨工事 Q&A	工作	けがき	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

Q. 鋼材面へポンチは打ってよいか？

A.

鋼材面へのポンチについて、認められない場合を以下に示します。

①曲げ加工される部分の外表面

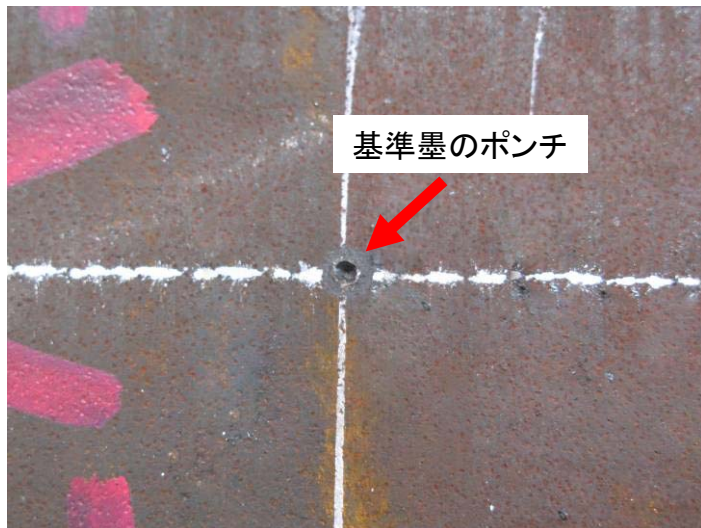
②490N/mm²以上の高張力鋼や疲労を考慮する部材(曲げ加工される部分の外表面に限らず全ての部分)

いずれも、けがき部分が亀裂発生起点となるおそれがあります。

一方、その上から溶接され完全に溶込む場合は問題ありません。



ハンチで曲げ加工される外表面
(写真はポンチを打って曲げ加工された後)



上から溶接されない部分はNG
(高張力鋼の場合)



上から溶接される部分はOK
(ただし、その部分が完全に溶込む事が条件となります)